



平成 30 年 4 月 14 日

各 位

会社名 株式会社 マルマエ  
代表者名 代表取締役社長 前田 俊一  
(コード番号: 6264 東証第二部)  
問合せ先 取締役管理本部長 藤山 敏久  
(TEL. 0996-64-2900)

### 平成 30 年 3 月度 月次受注残高についてのお知らせ

当社は、投資家をはじめとするステークホルダーの方々に、より正確に当社を理解していただくために、自社情報のタイムリー・ディスクロージャーを推進しておりますが、この一環として、下記のとおり平成 30 年 3 月度の月次受注残高を開示いたします。

記

#### 1. 月次受注残高 (百万円未満切捨て)

区分	受注残高	割合	対前月増減率	対前年同月増減率
半導体分野	788	70.5%	1.9%	75.2%
F P D分野	323	28.9%	3.7%	86.5%
その他分野	7	0.6%	14.1%	10.3%
合計	1,119	100.0%	2.5%	77.7%

#### 2. 月次受注残高の推移 (百万円未満切捨て)

区分	H29.4月	5月	6月	7月	8月	9月
半導体分野	482	620	564	539	551	567
F P D分野	211	214	278	318	268	258
その他分野	7	24	23	6	0	5
合計	701	859	866	864	820	831

区分	10月	11月	12月	H30.1月	2月	3月
半導体分野	552	655	646	730	774	788
F P D分野	283	213	229	306	311	323
その他分野	3	13	16	19	6	7
合計	839	882	892	1,056	1,092	1,119

### 3. 月次受注残高の概況

平成30年3月末の受注残高は、半導体分野においては、生産能力の拡大に伴って出荷検収は好調に推移しつつ、さらに受注においても新規設備投資が奏功し高水準を維持していることから、対前月増減率は1.9%増、対前年同月増減率では75.2%増の788百万円となりました。FPD分野においても、出荷検収と受注は好調に推移し、対前月増減率は3.7%増、対前年同月増減率では86.5%増の323百万円となりました。その他分野においては、おもだった動きはありませんでした。

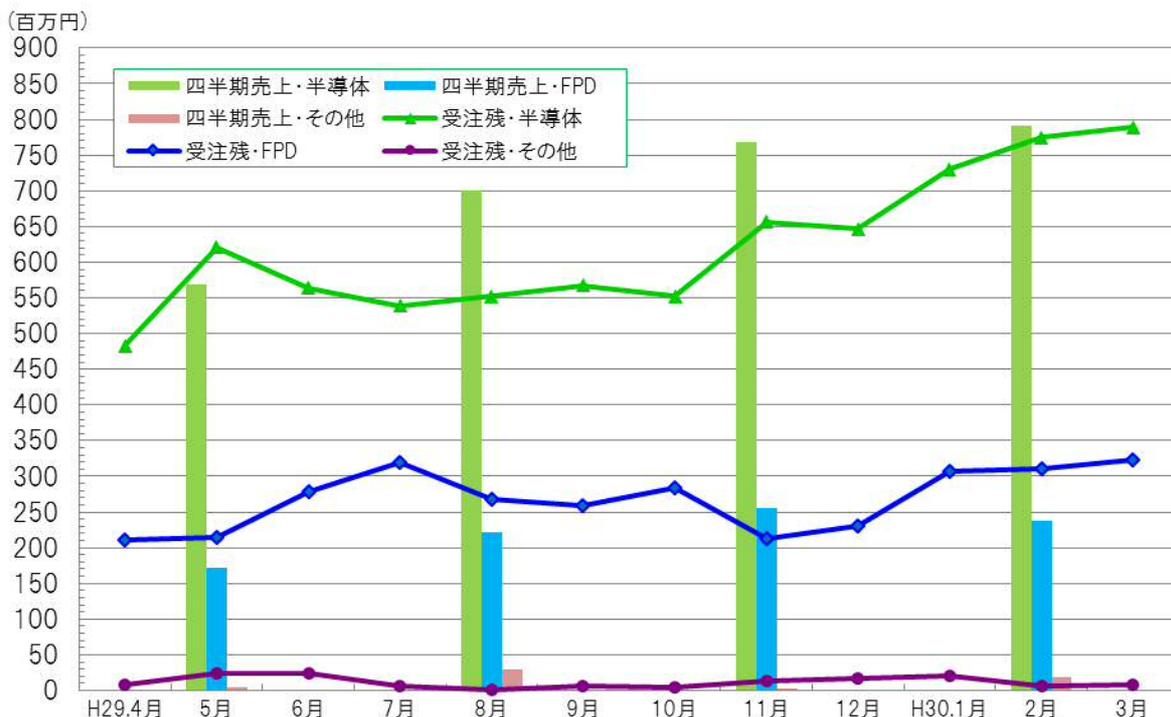
これらの結果、平成30年3月末の受注残高は、対前月増減率2.5%増、対前年同月増減率77.7%増の1,119百万円と過去最高額を更新しました。

今後の見通しにつきましては、半導体分野では、新事業所（出水事業所）の設備増強による生産能力拡大を見込んだ引き合いと、新たに始める電子ビーム溶接関連の受注が増加しており、多少の山谷はありながらも、段階的な受注増加が見込まれます。また、中長期的にも半導体市場は拡大する見通しであることから、今月一部稼働を開始した出水事業所の生産スペース余力を活かし、継続的に設備投資を行いながら受注拡大を図ってまいります。なお、電子ビーム溶接機も出水事業所にて今月より稼働開始しております。

FPD分野では、顧客の需要予測などより、第10.5世代大型液晶パネル向けと有機EL関連装置の高水準な需要が1年以上続く見通しを持っております。

以 上

(参考：分野別 過去一年間の四半期売上高と月次受注残高の推移)



注1. 上記受注残高の数値は、速報値であるため、翌月以降に修正される可能性があります。また、監査法人による会計監査を受けておりませんので、本決算の数値とは差異が発生する可能性があります。

2. 当社の受注残数値は、受注別に長短さまざまなリードタイムを持つことから、売上高と直接関連するものではありません。リードタイムの長い案件が増えると受注残が多くなり、リードタイムが短く当社月間生産能力範囲内の受注が増えると受注残が減る傾向となっております。